

# 迎春



## 新年のごあいさつ

令和6年能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

昨年中は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、終息とは言えないもののコロナ禍から日常生活へと徐々に移行することができました。一方で、ロシアのウクライナ侵攻をはじめ、イスラエル・パレスチナ情勢など、世界的に大変不安定な状況であり、安心した生活を送る上で一刻も早い終息を願ってやみません。また、近年の物価高騰は著しく、日常生活に大きな影響を与えております。

安中市議会では、市民の皆様が安心して生活し、未来に希望がもてるまちづくりを目指し、様々な施策の審議を重ねて参ります。

市民の皆様方には、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸とご繁栄、世界平和を心からご祈念申し上げまして新年のごあいさつといたします。

議長 壘 次雄  
副議長 小林 克行

## CONTENTS

第4回定例会の概要・

一般質問 .....	2
議案一覧・賛否の結果 .....	9
行政視察報告 .....	10
議会報告会実施報告 .....	12
高校生との意見交換会実施 報告・意見書概要 .....	13
お知らせ .....	14

「新春はしご乗り」安中鷹職組合・安中若鷹会

令和5年安中市議会第4回定例会は、11月30日から12月14日までの15日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、人事関係が3件、条例の一部改正が8件、補正予算関係が7件、合わせて18件でした。

また、議員提出議案として意見書が1件提出されました。

## 定例会のあらまし

- ◇30日＝本会議 会期の決定、議案16件を上程(内3件を即決)。議案を各委員会に付託。
- ◇5日＝総務文教常任委員会
- ◇6日＝福祉民生常任委員会
- ◇7日＝経済建設常任委員会
- ◇11・12日＝一般質問
- ◇14日＝本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。議案2件を追加上程。市長提出議案15件、議員提出議案1件を可決。閉会。



今定例会における一般質問は、12月11日と12日に行われ、13名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。

質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に一般質問を掲載しています。

PCや  
スマホでも

議会をご覧ください!

次の定例市議会は、2月27日から3月19日までの予定です。



## 現下の人権課題について

佐藤 貴雄 (新風新政会)

### 安中市新型コロナウイルス感染症の対策及び人権擁護に関する条例について

問 感染者等への不当な差別や誹謗中傷等の人権侵害はあったか。

答 (市民環境部長) 報告はありません。

問 マスク不着用やワクチン未接種者への人権侵害は条例の対象となるか。

答 (同部長) マスクやワクチン接種ができない方への人権侵害も条例の対象です。

問 子どもたちのマスク依存について見解は。

答 (同部長) マスク依存への影響を払拭する教育も重要と考えます。

### パートナーシップ宣誓制度について

問 パートナーシップ宣誓制度ではできないことはどんなものがあるか。

答 (市民環境部長) 法的効力がないので相続や保険の受け取りなどが認められません。

問 多くの国民が選択的夫婦別姓を望む中、国が制度変更をしないからこそ自治体が異性間のパートナーシップやファミリーパートナーシップに取り組むべきだがどうか。

答 (同部長) 調査研究していきます。

問 アウティングやカミングアウトの強制・禁止の禁止規定を作るべきだがどうか。

答 (同部長) 調査研究していきます。

### 安中市犯罪被害者等支援条例について

問 条例の概要は。

答 (市民環境部長) 犯罪被害者等の支援に関し、権利や利益の保護を図ることで市民が安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的とするものです。

問 遺族見舞金を30万円、重傷病見舞金を10万円にした根拠は何か。

答 (同部長) 見舞金支給の根拠は、県内外先進自治体の支給額を参考にしました。

問 未成年者への支援は。

答 (同部長) 安全確保を第一に、児童養護施設や児童相談所への橋渡しをし、必要に応じて学資支援や学習支援も案内します。





## 人から選ばれるまちについて

いま いとし ひろ  
今井 敏博 (新風新政会)

### 安中市の移住・定住支援について

**問** お試し移住、住まいりー奨励金の成果は。

**答** (企画政策部長) お試し移住については、移住に繋がったのは1件で、レジャー目的での利用実績もあったことから、新たな施策を検討します。住まいりー奨励金については、開始から昨年度までの2年3カ月で移住者は428人、県外からは56人です。定住の動機付けが弱いので、マイホーム取得支援金に切り替え、増額しました。

**問** 新たな支援の考え方・方針については。

**答** (同部長) 子育てに係る軽減策として、来年度から出産・子育て応援給付金に市独自での上乗せ、保育所・こども園での副食費の無償化などを実施します。

### 結婚・出産・子育ての支援について

**問** 現在行われている出産育児一時金、子育て支援の課題や、今後の取り組みは。

**答** (保健福祉部長) 50万円の一時金を支給していますが、出産費用を引き上げている医療機関もあり、国では令和6年4月から分娩施設ごとの費用やサービス内容などをウェブサイトで「見える化」する方針です。さらに、令和8年度を目途に保険適用の検討を進め、課題の解消に向けて国へ要望を行います。新たに来年度、マタニティ・サポート給付金事業として、出産応援給付金・子育て応援給付金を検討していきます。

**その他、魅力的な観光振興を質問しました。**



ふるさと回帰支援センターで行われたオールぐんま移住フェア



## 防災対策について

おがわ つよし  
小川 剛 (清風クラブ)

### 火山災害について

**問** 浅間山噴火での本市への影響はどうか。

**答** (総務部長) 過去の資料では、1783年の噴火は横川地区で25cmの降灰が、1973年の噴火では横川・坂本地区で1cmの降石、松井田地区で降灰が確認されました。

**問** 浅間山噴火の降灰を経験している住民は50年前の1973年の噴火が最後で、火山灰の被害状況や生活への影響はどうか。

**答** (同部長) 本市に関する浅間山噴火に関する公式資料が無いため、影響は不明です。

**問** 大規模噴火の降灰予測では、20cm以上積もる想定に本市も入るが影響はどうか。

**答** (同部長) 自動車や電車の走行不能や停電、通信障害、上下水道の機能不全、建物損壊、農作物被害等の可能性があります。

**問** 火山灰除去方法や置き場の協議はどうか。

**答** (同部長) 道路管理者及び庁内関係部署と仮置き場等の選定の対応策を検討します。

### 災害時のトイレの環境について

**問** 断水や停電発生時は問題となるがどうか。

**答** (総務部長) トイレが機能しないと使用をためらう避難者が増え排泄を我慢し水分や食品摂取を控え栄養状態悪化やエコノミークラス症候群等の健康被害が起こります。

### 本市独自での気象状況の把握について

**問** 小型気象計を設置し、地域の気象情報を市民へ提供する自治体があるがどうか。

**答** (総務部長) 導入事例を参考に実用性や利便性、機能や導入費用を検討します。



2019年8月7日、浅間山噴火の様子 (前橋地方気象台ホームページより)



## 本市の輝く資源『養蚕』の復興対策・市民の政治参加の基盤づくりについて

はら だ だい (日本共産党安中市議員)

### 本市の輝く資源『養蚕』の復興対策について

- 問** 企業による新たな養蚕参入の動きは。
- 答** (みりよく創出部長) 1法人から相談があり、大規模養蚕経営を目指す企業参入は、碓氷製糸の業績拡大と地域養蚕の活性化に繋がり、取り組みを支援しています。
- 問** 当該企業は今後のトレンドとして化学繊維から天然素材への回帰に着目。その他ワクチン製造開発に蚕の蛹を使用したいという企業が現れ、供給が追い付かない状況。また農研機構が開発した蚕の新品種により商品開発を進める製薬会社から蚕の飼育依頼が入った。これら企業ニーズに対応すべく体制準備と情報発信すべきでは。
- 答** (同部長) シルクはサステナブルな繊維として海外でも注目されており、新たなニーズに対し関係機関と連携し、養蚕振興の取り組みの情報発信に努めていきます。
- 問** 本市を含む当該地域一帯は養蚕インフラが今でも日本で唯一整っている、あえて言えば先進国の中で唯一無二の場所。光り輝く資源であるという認識はあるか。
- 答** (市長) 碓氷製糸は国内の生糸生産の要として、唯一通年稼働している最大の製糸工場であり、近代から受け継ぐ本市の養蚕・製糸の灯を消してはならないと認識しています。市内養蚕業の活性化と持続的発展に向け、そして認知度向上に取り組めます。
- その他、市民の政治参加の基盤づくりについて質問しました。**



出荷を待つ繭



## 特色ある教育の推進について

ながしま よう こ (公明党)

### 不登校支援について

- 問** 児童生徒の一人一台のタブレット端末を活用し相談アプリを導入するなど、SOSを出しやすい相談体制はどうか。
- 答** (教育部長) 悩みを抱える児童生徒に対しては、対面でゆっくり話を聞き、心に寄り添った支援が大切であると考えます。相談アプリ等の利用は、群馬県教育委員会のライン相談のカードを配布しており、中学生が利用できるようになっています。
- 問** 保護者へのサポートは重要であるが、情報提供や交流の集いとなる保護者会の実施状況は。
- 答** (同部長) 学校ごとの保護者会は開催していませんが、必要に応じて、福祉課と連携し「ひきこもり体験談を聞き、対話や交流をする集まり」を周知したり、県より配布される相談機関のリーフレットやカードを配布しています。
- 問** 国が進める、**校内教育支援センター**の設置促進について、本市の現状は。
- 答** (同部長) 市内小中学校では、ほっとルームやふれあいルーム、学習室の名称で、不登校児童生徒が登校した際に個別で指導する教室があります。今年度、これらの教室を設置している学校は13校中9校です。設置していない学校では、相談室等を必要に応じて使用しています。
- 問** まだ、教室を設置していない学校への設置については。
- 答** (同部長) 不登校児童生徒の状況や教室配置等を考慮しつつ、各学校と相談しながら検討します。
- 通級指導教室について**
- 問** 通級指導教室に通う回数を増やしてほしいとの保護者からの声がある。体制の充実を図るため、教職員の増員はどうか。
- 答** (教育部長) 通級児童生徒の人数により群馬県教育委員会が配置を決定します。





## 人口減少対策・廃校について

さくらい きくえ  
櫻井喜久江（無所属）

### 人口減少対策について

- 問** 空き家バンクの実績と補助金の制度は。
- 答**（まちづくり部長） 平成29年度の設立からこれまで104件の成約となっています。補助金額はリフォーム工事の場合は工事費の2分の1、限度額は20万円、家財処分は経費の2分の1、限度額は10万円です。
- 問** 東京都からの移住者支援については。
- 答**（企画政策部長） 東京圏から当市等地方に移住した方を対象に単身者60万円、世帯での移住は100万円支給する制度があり、これまで13件の実績です。都民へのPRについては11月に東京で開催された「オールぐんま移住フェア」に市長も参加し25組と最高の相談件数でした。地域おこし協力隊も本市の魅力を伝え、公式YouTubeチャンネル「安グルッ」も視聴していただきました。
- 問** 企業誘致の取り組みについては。
- 答**（みりよく創出部長） 産業用地の整備を進めており、用地を探している企業へ紹介し、また、企業の立地に向けた支援を行い、企業訪問の際に案内チラシを配布するなど、市長のトップセールスとして企業誘致活動に取り組んでいます。

### 廃校について

- 問** 当市の廃校の現状と今後の廃校予定は。
- 答**（教育部長） 現在廃校は8校あり、2年後には2校増えて10校になる予定です。
- 問** 廃校を、当市の埋もれた偉人を紹介する施設に、また、各家庭の書籍・アニメ等を持ち寄り、広く市民が利用できる図書館に、さらに、芸術家が多い当市の芸術家の作品を一堂に展示するスペースに利用したい、との市民の声がありますが市の考えは。
- 答**（企画政策部長） 幅広い観点から最も有効な活用方法について検討を進めており、行政改革審議会に諮問し回答もいただける予定で、財政負担をできる限り抑えた効果的・効率的な活用を検討します。



## 消防団組織の強化・若者の意見をとり入れる仕組みづくりについて

うさみ まこと  
宇佐美誠（新風新政会）

### 消防団の組織力強化について

- 問** 機能別消防団員の活動状況は。
- 答**（総務部長） これまでに8件の火災事案に出場し、延べ25人が基本消防団員の支援活動に従事しています。
- 問** 外国人消防団員の導入時期は。
- 答**（同部長） 令和6年4月1日付で任命する予定で、現時点で5人の候補者がいます。
- 問** 人口減少を踏まえ、定数見直しの予定は。
- 答**（同部長） 今後は部の統合等も踏まえ、「消防力の整備指針」を参考に見直しを検討し、適正な消防団員の配置に努めます。
- 問** 事業所単位での機能別分団制度の導入により、定数に近づくのではないかと。
- 答**（同部長） 地域防災力の充実強化に効果的な取り組みではありますが、従業員の多くがBCP対応を行いながら、消防団活動を行うことが想定されます。市としては、本制度にご賛同いただける市内事業所の情報収集に努め、先進自治体の導入例を参考に検討していきます。

### 若者の意見をとり入れる仕組みづくりについて

- 問** 高校生によるワークショップが行われたが、「ユース・ラウンド・テーブル」を取り入れる考えは。
- 答**（企画政策部長） 子どもや若者の社会参画意識の向上に寄与するという観点からも、有効な方法であると考えます。
- 問** 若者の社会参画意識を養うためのシチズンシップ教育については。
- 答**（教育部長） 地域学習の中で、それぞれの地域の特色や、文化や歴史などを学習した後、自分たちにできることを考え、提案・実行していく活動は、市民としての役割を果たそうとする力の育成につながると考えます。また、特別活動なども、自治的・自発的活動の経験の積み重ねはシチズンシップにつながるものと考えます。



## インボイス制度・安中市総合計画の実施計画・竹を利用した飼料・肥料について

いけ しま とし あき  
池島利明 (新風新政会)

### インボイス制度と電子帳簿保存法について

- 問** インボイス制度の概要は。
- 答** (総務部長) 消費税の申告納付事業者が仕入税額控除を受けるために、インボイスと呼ばれる適格請求書が必要とされます。
- 問** 電子帳簿保存法の目的は。
- 答** (同部長) 税務関係帳簿書類のデータ保存を可能とする法律で、紙の書類の保存スペースが不要となることなどのメリットが示されています。
- 問** 電子帳簿保存法における電子保存の義務化の内容は。
- 答** (同部長) 令和6年1月以降に電子データでやりとりした領収書や請求書などは、その電子データを保存する必要があると聞いています。

### AIを活用した介護予防把握事業計画について

- 問** 事業計画の効果は。
- 答** (保健福祉部長) 自動的・継続的にフレイル状態が把握でき、早期介入により、意識変容や介護予防の動機付けに効率的に取り組むことができると考えています。

### 公立碓氷病院への診察案内表示システム及び自動精算機等導入事業計画について

- 問** 導入計画の効果は。
- 答** (公立碓氷病院事務部長) 個人情報保護や会計窓口業務等の改善につながります。患者様、利用者様の利便性の向上を図り、病院の利用者増、患者増につなげていきたいと考えています。

### 竹を利用した飼料や肥料としての活用について

- 問** 竹林所有者の悩みの解消と、竹の効果を考えた場合の今後の取り組みは。
- 答** (みりよく創出部長) JA等の農業団体や県等の関係機関と連携して、肥料や飼料等の農業用資材としての利活用について、周知と啓発に努めていきます。



## 公害対策・多様な学校への取り組み・安中市営すみれヶ丘霊園について

こばやし かつ ゆき  
小林克行 (新風新政会)

### 悪臭防止への取り組みについて

- 問** 鉦泉地住民アンケートでは、「臭いを非常に強いと感じ生活に支障がある」と答えた方が過半数を超え、「支障はないが臭いを強く感じている」と答えた方も3割を超えている。観光のみならず、市民生活に影響が出ていると考えるべきでは。
- 答** (みりよく創出部長) 約9割の方が不快な臭いを感じており、風評被害や精神的苦痛を感じている方もいると認識しています。
- 問** 臭気モニタリング調査には、ほとんどの場合でブタの臭いと明記されている。原因はブタの臭いの可能性が高いのでは。
- 答** (同部長) 臭気種類は、畜産臭と推測されます。
- 問** 臭気防止薬剤購入事業補助金制度の適用範囲を、酪農だけでなく、養豚業者や他の畜産業種にも拡大すべきでは。
- 答** (同部長) 薬剤の購入補助の検討を進めています。

### 不登校支援について

- 問** 不登校児童生徒は全国で約30万人、安中市でも60名程度あり、対策強化は急務である。国は「学びの多様化学校」を全国で300校まで増やすと表明した。安中市としても設置を検討すべきでは。
- 答** (教育部長) 現在、全国で24校ある他の都道府県の先行事例等を研究します。
- 問** 公設民営のフリースクールを安中市に設置すれば、保護者は無料で子どもを通わせることができる。検討は。
- 答** (同部長) 多様な学び場所として、調査研究を進めます。

### 安中市営すみれヶ丘霊園について

- 問** 墓地はかなり残っている。焼骨保有の要件をなくすなど、募集要件を緩和しては。
- 答** (市民環境部長) 申請件数は、区画墓地222区画中105件、納骨堂520区画中37件です。要件緩和を検討します。

(6) フレイル状態…要支援要介護となる危険性が高い虚弱な状態。

学びの多様化学校…学習指導要領の内容などと合わせ、不登校の状態にある児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成し、実施している学校。



## 移住定住支援・教育・都市間交流について

やなぎさわ ひろ ゆき  
柳 沢 浩 之 (清風クラブ)

### マイホーム取得支援金について

**問** 住まいりー奨励金からマイホーム取得支援金に変更された。変更内容と実績は。

**答** (企画政策部長) 変更内容は、基本額を5万円から10万円に拡充しました。加算額は、中学生以下の子ども加算を、一律2万円から子ども一人当たり5万円に、新幹線通勤加算を10万円から20万円に拡充しました。その他、市外からの移住者は5万円、空き家バンク物件を購入した際には、3万円の加算があります。実績は、34件の申請に対し、532万2,000円を交付しています。

**問** マイホーム取得支援金をさらに充実させる施策は。

**答** (同部長) 加算の対象の拡大等を、今後検討していきたいと考えています。

### 生徒の下校時の安全対策について

**問** 下校時の交通安全や防犯など安全対策は。

**答** (教育部長) 児童生徒が安全に登下校できるように「通学路安全推進会議」で協議し、合同点検を実施しています。

**問** 日没が早まる下校時に見通しの悪い箇所に防犯灯の設置は。

**答** (同部長) 通学路などで夜間暗いなどの理由により新たに防犯灯を設置してほしいという要望があり、対応が必要であると考えています。

**その他、60歳以上の転入者在住支援、学びの多様化学校、友好都市協定の拡充、姉妹都市提携について質問しました。**



マイホーム取得支援金パンフレット



## 社会的課題・保健衛生事業・若者定住支援策について

むしや よう こ  
武者 葉 子 (公明党)

### 温暖化による猛暑対策について

**問** 熱中症や脱水症対策のため、給水スポットの拡充やペットボトル削減のために、マイボトル対応の冷水機設置についての考えは。

**答** (市民環境部長) 冷水機は、市役所本庁舎、松井田庁舎、文化センター、文化会館、スポーツセンター、米山体育館、原市体育館、スマイルパークに設置しています。マイボトル対応の冷水機は、検討します。

### ウイルス感染症対策について

**問** 群馬県のインフルエンザ警報が発令され、市内でも流行が続く中、小さい子どもや受験生のご家族から、予防接種費用の一部助成の再開を望む声があるが、市の見解は。

**答** (保健福祉部長) 今後の感染症等の動向を踏まえ検討します。

### 奨学金返還支援制度について

**問** 「安中市に戻り就職したい」「安中市に移住したい」という若者への経済支援のため、奨学金の返還支援制度を導入し、支援する考えは。

**答** (企画政策部長) 地域の担い手となる若者の定住促進、人口減少に歯止めをかけることなどを目的に、奨学金の返還を支援する支援制度のほか、市内の中小企業に就職した市内在住の若者に対し奨励金を交付する自治体や、電子地域通貨を活用している事例を参考に、若者への支援策を検討したいと考えます。



スポーツセンター内の冷水機





## 農地の有効活用・農業従事者と担い手・スマート農業について

かない とみお  
金井 登美雄 (新風新政会)

### 農振地区における農地の有効活用について

**問** 放棄地の現状については。

**答** (みりよく創出部長) 農振地域内の遊休農地は、約6.2ha、再生困難な農地は、約541.9haです。

**問** 解消と対策については。

**答** (同部長) 耕作放棄地解消対策補助金の拡充と要件緩和により、所有者や耕作者の営農継続支援を行っています。また、国の中山間地域直接支払制度など、市と地域が、協定を結び交付金により、農地の耕作や管理を支援しています。

**問** 今後の課題については。

**答** (同部長) 耕作者の確保育成、市外からの農業誘致、他産業との共同事業等が課題と考えます。

**問** 目的外の活用については。

**答** (同部長) 農業振興地域内農地は、農地として活用することが、大前提です。早生桐植栽推進事業や、営農型ソーラーパネル下での営農を行うことで、農作物の収入と売電収入で、所得向上が見込まれます。

**問** 農業従事者数と年齢の推移については。

**答** (同部長) 本市における販売農家の従事者数と年齢は、2010年で、従事者数2,761人内20歳未満31人、20歳代102人、70歳代770人、2020年では、従事者数818人、内20歳未満0人、20歳代3人、70歳代295人、となっています。

**問** 本市における集落営農集団や農業法人立ち上げの促進については。

**答** (同部長) 耕作放棄の防止や機械設備の共同化により、効率化が図れることから、取り組みを支援していきます。

**その他、スマート農業「ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する」について、本市における、スマート農業に対する捉え方や、有効性について質問しました。**



## 国民健康保険制度・子育て支援・森林開発計画について

かない ひさお  
金井 久男 (日本共産党安中市議団)

### マイナ保険証について

**問** マイナンバーカードを持たず、マイナ保険証を持たない市民へはどう対応するのか。

**答** (市民環境部長) 当分の間、マイナ保険証を持たないすべての国保被保険者には、申請によらず必要な保険診療が受けられるように「資格確認書」を交付する予定です。

### 保育士配置基準の見直しについて

**問** 75年前の基準が変わらなかった保育士配置基準がようやく見直しされるが、市全体で保育士は何人増えるのか。

**答** (保健福祉部長) 市内各園の年齢別利用者数から見積もった概算によれば、5名程度の保育士の増加が必要になります。

**問** 未定員の園では、苦しい運営状況だが、支援措置をすべきではないか。

**答** (同部長) 列挙された園の一部から運営が苦しいと話があり支援が必要と認識しているが、削減すると園児一人当たりの給付費も増えるため一定の配慮がされています。

### 坂本地区の森林開発について

**問** 小規模土地開発事業で始まった事業、申請時とその後の現状の相違があるのではないか。

**答** (まちづくり部長) 坂本地区の資材置き場を目的とする開発事業については、2カ所で「安中市土砂等による埋立て等の規制に関する条例」に基づく土砂埋め立ての申請が出されています。工事完了は令和7年8月31日とされています。

### 水質汚染の問題について

**問** 森林伐採部分の直下に「坂本用水」が整備されているが影響がある。森林伐採箇所の排水措置などの対策は講じているのか。

**答** (まちづくり部長) 「排水施設計画平面図」によると、坂本用水側に区域全幅にわたる「浸透集水溝」を設置し、雨水を集水し浸透させる計画で、土砂流出時には事業者に対し速やかに対処する指導を行います。



## 第4回定例会人事関係議案

人権擁護委員の推薦について意見を求められましたので、これに同意しました。

### ●人権擁護委員

【古屋】 秋原 稔  
 【磯部】 金田 すみ澄子  
 【松井田町人見】 松本 やすこ 靖子

人権擁護委員は法務大臣から委嘱を受け、地域における人権相談や、人権の考えを広める人権擁護活動を行っていく方たちです。

## 人事関係以外の議案

- 安中市監査委員条例等の一部を改正する条例について
- 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市健康増進施設恵みの湯条例の一部を改正する条例について

恵みの湯の利用料金について、平成13年の開設以降、消費税率の引き上げに伴う料金改正のみで運営してきましたが、今般の諸物価高騰の影響などにより、利用料金を改めるものです。

### ●安中市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

国民健康保険税について、産前産後期間に係る所得割額及び被保険者均等割額を減額する制度を新設するための改正です。

### ●安中市空家等の適切な管理及び活用の促進に関する条例の一部を改正する条例について

- 令和5年度安中市一般会計補正予算（第6号）
- 令和5年度安中市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度安中市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和5年度安中市病院事業会計補正予算（第2号）
- 令和5年度安中市介護サービス事業会計補正予算（第1号）
- 令和5年度安中市一般会計補正予算（第7号）
- 令和5年度安中市水道事業会計補正予算（第2号）

## 令和5年第4回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。その他の議案は、全員賛成で可決されました。

議案名	議員番号																				結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
議員名	原田 大	金井 久男	宇佐美 誠	池島 利明	長嶋 陽子	武者 葉子	金井登美雄	小林 克行	巽 久男	壘 次雄	松本 次男	小川 剛	櫻井喜久江	小林 訂史	佐藤 貴雄	今井 敏博	吉岡 完司	柳沢 吉保	柳沢 浩之	高橋 由信	
議案第86号 安中市健康増進施設恵みの湯条例の一部を改正する条例について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は、採決に加わらないため「—」としています。

【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席 棄：棄権】



## 総務文教常任委員会視察報告

委員長 金井登美雄

総務文教常任委員会では、令和5年10月3日から5日の日程で愛知県大府市・岡山県笠岡市を視察しました。

大府市では、「DAIWA防災学習センター」にて防災学習や防災意識の向上について視察しました。この施設は、平成12年の東海豪雨被害を教訓に、全国的にも珍しい「冠水道路歩行体験」などが設けられています。本市と同様に防災士資格取得の助成制度も整備されていました。本市では、施設整備は難しいですが、防災用品の展示等、防災意識の啓発における施策として多くの学びがありました。

笠岡市では、移住定住政策について視察しました。かねてより移住定住政策に取り組み、平成21年に定住促進センターを新設し、全庁的な施策展開を行っていました。多様な支援策を講じ、空き家バンクの成約件数が岡山県でトップという成果も出しているとのことでした。また、近年では、空き家のVR内覧などの先進的な取り組みもはじめています。本市においても、全庁的な取り組み体制の構築や、空き家のVR内覧なども取り入れられそうであると感じました。



## 福祉民生常任委員会視察報告

委員長 松本 次男

令和5年10月23日から25日の日程で、岡山県総社市で「ヤングケアラー支援」を、鳥取県倉吉市で「病児・病後児保育」の行政視察を行いました。

総社市では、ヤングケアラーの孤立ゼロ実現に向け、市内小中学校で実施したアンケート調査の結果を基に、個別ケース会議で児童生徒の状況を分析。相談窓口の設置やコーデイネーターの配置などにより、地域や関係機関と連携しヤングケアラーの子どもとその家族に必要な支援を行っています。また、令和3年9月に総社市ケアラー支援の推進に関する条例を制定。本市における具体的な体制づくりの重要性を痛感しました。

倉吉市は、1市4町で構成する鳥取県中部定住自立圏の中心市として、各町単独で実施が困難な病児・病後児保育を圏域で連携し行っています。病児保育施設「きらきら園」は社会福祉法人へ委託し県立厚生病院内専用室で、病後児保育施設「すくすく園」は医療法人へ委託して事業を行っています。施設見学をはじめ、事業の運営状況や予算、推進上の課題などを学ぶことで、本市での同事業の取り組みに向け大変参考になりました。





## 経済建設常任委員会視察報告

副委員長 巽 久男

経済建設常任委員会は、令和5年10月18日から20日の日程で、石川県かほく市で「上下水道事業包括的民間委託・道の駅高松」を、大阪府大東市で「立地適正化計画」の行政視察を行いました。

かほく市では、業務の効率化による経費削減を図るため、「水道事業」「下水道事業」「農業集落排水事業」の包括民間委託を実施しています。その結果、2期目の5年間で約7,500万円の経費削減に成功しました。上下水道は重要なインフラであるため、民間委託は慎重に検討する必要がありますが、将来の選択肢の一つとして参考になりました。

また、同市の「道の駅高松」も見学させていただきました。指定管理者の（株）高松レストハウスは、市から管理料は一切もらっていない中で、800万円の黒字を達成しており、官民連携の事例として参考になりました。

大東市では「立地適正化計画」を策定し、『大東で働き、大東に住み、大東で楽しむ、子育てしやすい「職住楽」超接近のまちづくり』の方針を掲げ、商業などのエリアや、学術研究エリア、産業集積エリアを設け、効率的な都市を目指しています。安中市でも立地適正化計画策定に着手しており、内容を精査するうえで非常に勉強になりました。



## ICT化・情報公開部会視察報告

議会改革推進特別委員会

ICT化・情報公開部会 部長 小林 克行

全国では6割を超える自治体がすでにタブレット端末を議会に導入しています。安中市議会も端末の導入を検討していることから、令和5年11月8日に先進自治体である富岡市に伺い、視察研修を行いました。

富岡市は令和元年度よりタブレットを導入しています。端末の種類は「iPadPro」で、NTTドコモとの4年間のレンタル契約です。セルラーモデルのため、Wi-Fi環境が無い場所でも利用可能となっています。画面サイズは、議員からの要望もあり12.9インチと大きめのサイズです。文書共有アプリの「サイドブックス」や、LINEとほぼ同じ機能を持つ情報連絡アプリ「リンクット」、議員全員で共有できるスケジュール管理アプリ「タイムツリー」を実際に操作させていただきました。アップルペンシルを使ったメモ書きも簡単にでき、その他のアプリも視覚的なデザインで非常に見やすく、端末活用の利点を数多く学ぶことができました。

ICTへの取り組みとして、タブレット端末導入の必要性を強く感じた研修でした。



## 議会報編集委員会視察報告

委員長 柳沢 浩之

議会報編集委員会は、令和5年10月30日から31日に、石川県白山市と富山県砺波市で「議会だよりの編集」の行政視察を行いました。

白山市では、議会だよりの発行回数やデザイン・イラスト等の掲載内容と発行までのスケジュールや編集委員会の構成などを学ぶことができました。特にデザインやイラストについては、春夏秋冬などをテーマに学生の感性に任せたイラストを依頼し、堅いイメージを払拭するため色合いや記事の配置を工夫していました。また、掲載内容では、市民の声の寄稿者の依頼や、2次元コードの配置などを学ぶことができました。

砺波市でも、同様に議会だよりの発行スケジュールや掲載内容について学ぶことができました。特徴的には、発行日の朝から購読でき、他自治体の広報誌等が掲載されているマチイロアプリへの掲載でした。

本市としては、先進的な両市の取り組みを参考に、市民の皆さんが読みやすく・親しみのある議会だよりを発行するためにリニューアルを進めていきます。



## HP紹介

行政視察報告書につきましては、安中市議会のホームページでも公開しています。このコードからアクセスできます。



## 議会報告会実施報告

議会改革推進特別委員会  
委員長 今井 敏博

令和5年11月16日に安中公民館で安中市議会として初めての、市民を対象にした報告会を開催しました。報告会では、今後の市議会の役割や内容等を市民の皆様が発信していくために、SNSやインターネット、紙媒体等を通じて報告をしていくと共に、高校生との意見交換や市民の皆様へ定期的に報告会を実施していくことを説明いたしました。また、常任委員会の視察について、視察後各委員会で視察内容の議論を深め、その報告書を執行部に提出し、情報共有していくこと等についても説明いたしました。その後、総務文教常任委員会、福祉民生常任委員会、経済建設常任委員会の各委員長より、9月定例議会における議案審査の結果や所管事務の説明、さらに行政視察の報告をし、質疑を受けました。質疑終了後、市民の皆様との意見交換会を行い、議会に対する建設的な意見や、厳しい意見をいただきました。

今後とも、一人一人の議員の資質を向上させ、市民の負託に応えることが重要であると感じました。さらに開かれた議会を目指して議会改革を進めていきます。





## 高校生との意見交換会実施報告

議会改革推進特別委員会

住民参画部会 部会長 佐藤 貴雄

安中市議会では、議会基本条例にある「市民の多様な意見を把握し、～中略～市民との意見交換の場を設けることにより、市民が議会の活動に参加する機会の充実を図るものとする」との条文に基づいて、市内3校の高校生と意見交換を行いました。令和5年10月27日の新島学園高等学校では9名、11月8日の松井田高等学校では10名、11月21日に行った安中総合学園高等学校では6名の高校生が参加し、議会改革推進特別委員会メンバーと活発な意見を交わしました。

会では、事前にいただいた質問を基に意見交換を行ったり、市への具体的な要望や将来の希望、生徒会役員になった経緯など、多様な意見を伺いました。中には、市議会議員のあり方に疑問を呈する意見もあり、身が引き締まる思いでした。

選挙権年齢が18歳となりましたが、若年層の投票率は他の年代に比べて低くなる傾向があります。安中市議会では今後も継続して高校生との意見交換を行い、政策立案や提言に活かしていきます。



## 意見書案を可決

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が意見や希望を文書で提出することができるものです。今定例会には、1件の意見書（案）が提出され可決されました。

この意見書は、衆参両院議長と内閣総理大臣ほか、関係大臣へ提出されました。

### 義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

（概要）学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働など問題が山積しています。子どもたちの豊かな学び、学校の働き方改革を実現するには、教職員の定数改善や少人数学級の実現が不可欠です。

義務教育費の国庫負担については、小泉政権下の「三位一体の改革」の中で、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、義務教育における自治体間の教育格差が生じることは大きな問題であります。このため、下記のとおり義務教育費国庫負担制度の国庫負担率改善を求めるものです。

#### 記

- 1 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率2分の1への復元を行うこと。

## 議会報告会を開催します

安中市議会では、市民の皆さまが参画できる開かれた議会を目指していきます。議会で決定した事項の報告や、議会活動に対するご意見、ご提言などを市民の皆さまに直接伺うために、本年度から議会報告会を開催しています。

下記日程で開催を予定しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：令和6年2月14日（水）  
午後6時から 1時間半程度

会 場：松井田文化会館 小ホール

内 容：直近議会における議決事項、議会の活動状況報告、意見交換会

申し込み：事前の申し込みは不要です

## 次の定例会（予定）

次の定例市議会は、2月27日から3月19日までの22日間の会期で開催される予定です。

- ◇27日＝本会議 開会、議案の上程等
- ◇28日＝本会議 施政方針、議案の上程等
- ◇14日＝本会議 一般質問
- ◇15日＝本会議 一般質問
- ◇19日＝本会議 委員長報告、採決等、閉会

## 議会の映像配信

議会（本会議）の様子をご自宅のパソコンやお手持ちのスマートフォン・タブレット端末からもインターネット中継でご覧いただけます。過去の議会映像もインターネットの録画中継で見ることができます。映像配信は安中市のホームページ、安中市議会の議会中継へアクセスしてください。

このコードからも安中市議会のホームページにアクセスできます。



### 議会だより第80号記事の訂正について

議会だより第80号13頁に掲載しました行政視察報告につきまして、表題に「議会運営員会行政視察報告」と掲載しましたが、正しくは「議会運営委員会行政視察報告」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

## 編集後記

地方自治体は、二代表制で運営されています。市民からそれぞれ直接選挙で選ばれた市長、そして市議会議員は市民の代表としてお互い対等な立場で市政をつかさどることになります。私たち市議会は一丸となってその責務を全うすべく、市長が提示する市民サービスや予算案に対し、議会にて慎重に審議を行っています。一方で、地元を中心とした地域住民の声をつぶさに拾い、より良い市民生活が送れるよう市政に反映することも重要な責務です。

このような私たち議会の活動は、なかなか伝わりにくいものですが、できる限り見える化できるよう努力してまいります。この議会だよりを通して、日々の活動を少しでも垣間見ることができれば幸いです。（原田）

### 連絡先

安中市役所 議会事務局宛  
☎027-382-1111 内線1349番

### 編集委員

[委員長] 柳 沢 浩 之  
[副委員長] 池 島 利 明  
原 田 大 宇佐美 誠  
長 嶋 陽 子 金 井 登美雄  
松 本 次 男 櫻 井 喜久江